

テスト自動化ツール「TestArchitect™」の新バージョンを発表

お客様がクラウドファースト環境を採用する際に役立つ

クラウドベースのライセンス管理サービスを新搭載

ソフトウェアテストソリューションのリーディングカンパニーである LogiGear は、本日、独自のテスト自動化ツール「TestArchitect™」の新バージョンをリリースいたしました。新しいバージョンでは、お客様の DevOps 開発や DX への速やかな移行を支援する機能が搭載されています。LogiGear のビジネスソリューションを統括するシニアヴァイスプレジデントである Clayton Simmons は、新バージョンについて下記のように語っています。

「私たちは、クラウドファーストの考え方に移行する企業を受け入れ、それに伴う新しい期待に応えるために TestArchitect™ を進化させています。新しい SaaS ベースのライセンス管理サービスにより、TestArchitect™ のお客様は QA とコストをより効果的に管理できます。」

TestArchitect™ の詳細はこちらをご覧ください: <https://www.testarchitect.jp/>

主な新機能

- **TestArchitect™ ウェブレコーダー:** TestArchitect™ ウェブレコーダーは、Web アプリとの手動操作を記録し、自動化スクリプトを自動的に生成することができ、自動化エンジニアのテスト作成プロセスの大幅な効率化を実現いたします。
- **クラウドベースライセンスマネジメントサービス(LMS):** LogiGear は、最新のライセンス管理サービスをクラウドに導入しました。この SaaS ベースのサービスは、LogiGear のお客様がソフトウェアライセンスとコストをより柔軟で可用性の高い方法で便利に管理するのに役立ちます。
- **Azure DevOps サービス (ADO) 統合:** 現在 Microsoft 社の Azure DevOps サービス (クラウドベース) を使用しているお客様は、ワークプロセスを TestArchitect と統合することで、TestArchitect の自動テストを実行することができ、RESTAPI を介して TestArchitect の結果を ADO にアップロードできるなど、自動テストを効率的に管理することが可能です。
- **LogiGear AppCenter:** LogiGear では、今回のバージョンアップを機に、ユーザーが TestArchitect Enterprise、TestArchitect Gondola、その他の LogiGear 製品を含む最新の LogiGear ソフトウェアにアクセスできる新しい AppCenter をリリースしました。

LogiGear について

LogiGear は、企業のソフトウェアテストソリューションとテスト自動化ツールの大手プロバイダーです。1994年の創業以来、LogiGear では、シリコンバレーの最先端のテストノウハウの活用により、テストプロセスを変革し、複雑な自動化の問題を解決することで、業種や企業ステージの異なる様々な企業の高品質な製品の迅速な開発を支援しています。

【本サービスに関する問い合わせ先】

株式会社ロジギアジャパン 高橋 E-mail : sales@sales.logigear.tokyo